

Industrial Manual

キャンパスガイドを作成した際のコンセプトは大きく分けて二つある。

一つはこの学校で得る学びである。

生産工学部の学びは専門的な分野を集中的に学ぶことではなく、経験を積み、教養をつけることで客観的な視点をもつことであると解釈した。そのためデザインでは EXPERIENCE(実体験)と LIBERALARTS(真の教養)が手を「握り」あうような形にした。

二つ目はこの本の役割である。

大学生活を送る上で困ったときはこの本を見るため

「手引書」としての印象も感じた。

そのため手のデザインは手を「引く」ようなイメージで作成した。

以上のようなコンセプトの中、新入生が手にしても恥ずかしくないような直線的でスタイリッシュな印象で全体のデザインを行った。

